

++++++
「植物と人々の博物館メルマガ」 第4号 2015年8月19日発行
++++++

残暑、お見舞い申し上げます。台風は心配ですが、少しは過ごし易くなりそうですね。
コオロギも鳴いています。

会員および配信を希望される方に公開活動ニュースなどをお送りします。

ご関心のあるご友人に転送などでご紹介いただき、信頼の「ロコミ」で広報して
いただけるとありがたいです。連絡先は下記メールアドレスです。

1. 日本村塾 *Nihonmura College for Environmental Studies*

伝統知を学び合うことで、トランジッションの「素のままの美しい暮らし」 (*Sobibo*) を
勧める。

参加希望者は木俣にメールください。 kimatami@u-gakugei.ac.jp

1) 民族植物学ゼミ第1回、*日が間違っていました。

日時：9月20日（日）午後1時から午後3時。

場所：小金井市の東小金井マロンホール。

内容：読書会、内村鑑三著『地人論』、岩波文庫、660円。

担当者：松浦さん

参加費：300円

2) 扶桑くにゼミ第2回

日時：9月20日（日）午後3時から午後5時。

場所：小金井市の東小金井マロンホール。

内容：読書会、トルストイ著『神の国は汝等の衷にあり』は入手困難。かわりに、
藤沼貴著『トルストイ・クロニクル、生涯と活動』、東洋書店、600円。

担当者：木俣

参加費：300円

2. 道の駅小菅で展示「雑穀街道」

アフリカから、遠く極東の日本にまで伝わった、縄文時代からの歴史をもつ雑穀が多く
維持されている村々。

これこそ後世に伝えるべき文化遺産です。ドイツの諸街道のように「雑穀街道」でつなげ
ましょう。

日時：9月1日～10月31日

内容：雑穀をモチーフにしたテキスタイル、種子とその解説、雑穀街道の現代史「古守豊
甫医師による

長寿村桐原調査からエコミュージアム日本村まで」など。

3. 環境学習セミナーの予定

1) 第35回環境学習セミナー（詳細は近日中にお知らせ）

話題：自然文化誌研究会創立40周年記念（仮題）

日時：10月10日（土）～11日（日）、場所：山梨県小菅村

2) 第36回環境学習セミナー 第2次案内

第36回環境学習セミナー

『明日の小菅村を探る』 ～持続可能な地域社会の再検討～

過疎高齢化や限界集落など悲観的な用語が世間を飛び交う中で、日本の山村は多くの課題を抱えながらも、

素のままの美しい暮らしを、今に継承してきた。源流の郷（日本小菅村発）、エコミュージアム（フランス発）、

トランジションタウン（イギリス発）、美しい村連合（フランス発）の4つの代表的事例からその活動経験を学び、

地方消滅論を再検討し、これを克服する方策を探る。現在、人口700人余の小菅村でも、源流の郷や

エコミュージアム日本村など、以前から多く村づくりの取り組みがなされている。これらの経験を自ら学び直し、

また、他村の経験をともに学ぶためのセミナーにしたい。

日時：2015年11月14日（土）～15日（日）

場所：山梨県小菅村 役場および中央公民館

参加費：資料代など3,000円、懇親会参加費3,000円、体験参加費500円、宿泊（1泊朝食）6,000円

連絡問合先：NPO法人自然文化誌研究会 事務局 黒澤友彦

e-メール npo-inch@wine.plala.or.jp Tel/Fax: 0428-87-0165 携帯 090-3334-5328

主催：NPO法人自然文化誌研究会、エコミュージアム日本村／ミューゼス研究会

共催：NPO法人ECOPLUS、協力：東京学芸大学環境教育研究センター、後援：小菅村、トランジション・ジャパン

【プログラム】

11月14日（土） 『明日の小菅村を探る』～持続可能な地域社会の再検討～

昼の部～会場は小菅村役場新庁舎

12:30～ 受け付け開始 小菅村役場新庁舎

13:00～13:20 趣旨案内と挨拶 青柳諭（ミューゼス研究会代表）

- 13:20～13:50 源流の郷小菅村 佐藤英敏（小菅村教育長）
- 13:50～14:20 全国のトランジションタウン活動と藤野の例
小山宮佳江（NPO 法人トランジション・ジャパン共同代表）
- 14:20～14:30 休憩
- 14:30～15:00 「日本で最も美しい村」連合が目指す地域社会の未来
杉一浩（NPO 法人「日本で最も美しい村」連合 常務理事）
- 15:00～15:30 講演 地方消滅論の再検討 山下祐介（首都大学准教授）
- 15:30～15:40 休憩
- 15:40～16:30 質疑応答など
- 16:30～16:45 まとめ 木俣美樹男（東京学芸大学名誉教授）
- 夜の部の会場は小菅村中央公民館、植物と人々の博物館の展示案内。
- 18:30～20:30 懇親会（フリートーク・立食、宿はR&B）
歓迎の挨拶 船木直美（小菅村村長）

11月15日（日） 『小菅村を楽しむ』

トレイルマップがあるので、希望者は各自で散策できます。

- 9:00～ 集合・説明
- 9:30～11:30 体験へ出発
- ① こんにやく体験と掛け軸畑（橋立地区：木下新造）
- ② 養殖業と天神山（川池地区：小菅一芳）
- 11:30 そのまま集合せずに解散、昼食は各自で。

4. 雑穀見本園の生育状況など

- 1) 雑穀栽培見本園のキビは登熟中、アワも出穂しました。
 - 2) 道の駅小菅駐車場わきの雑穀見本園のキビ（イタリア産出穂中、秋山郷、奥多摩在来）、アワ（小菅在来モチ、ウルチ）、センニンコク（ハワイ、開花中）、モロコシ（在来直立穂、下垂穂）、ヒエ（西原在来）、ハトムギ（富山産）、シコクビエ（西原在来）が良く育っています。
 - 3) オオムギは上野原市西原の水車で、中川さんのご指導により、精麦しました。丸麦をおばくなどにして食べます。
- 2回目の搗精ができました。希望者には250g袋・レシピ付を差し上げます。1回目は20人ほどに楽しんでいただきました。

5. 民族植物学ノオト第8号の主な論説は下記です。9月末頃に発行予定で、希望者に差し上げます。

送付先住所を添えて、e-メールなどで木俣までお申し込みください。

雑穀栽培の聞き取りを始めて（坂番雅美）、食文化と野生植物とのつながりに関する意識調査（宮内かおり）、

北インドの森林パンチャートにおける資源管理への住民参加（長濱和代）、カレイドスコップ方式による環境学習ツールを活かした

環境教育学を基盤とする二極化から多角化への視点転換＝伝統智と科学智の統合過程＝（西村俊）、

生きるという任意・自律的な営為を動かす心情の省察（木俣美樹男）ほか。

第9号雑穀特集英文は編集中です。第10号は2016年3月頃締切で原稿を募集します。

.....

植物と人々の博物館は、山梨県小菅村で行っているエコミュージアム日本村（トランジション小菅）のコア博物館です。

これはNPO自然文化誌研究会のボランティアな公民館活動プロジェクトです。ご興味のある方が山村の素のままの美しい暮らし

sobiboや伝統文化を村人から一緒に学び、継承するプロジェクトに参加して下さると、とてもうれしいです。

自然文化誌研究会が国内外の調査研究によって収集した民具、雑穀標本、図書、雑穀栽培見本園などを山梨県の山村

小菅の暮らしと関係づけて展示、整理、解説しています。雑穀栽培講習会、日本村塾3ゼミ（自給農耕、民族植物学、

扶桑こく）、環境学習セミナーなども開催しています。雑穀街道（さあ山村）を、都市から農山村に暮らし向きを求め、鎌倉街道（いざ鎌倉）と反対方向に創ることを提案しています。

現在の日常活動（原則として月曜日か金曜日）

1. 雑穀栽培見本園の管理
2. 民具展示の整理
3. 雑穀標本の整理
4. 農・林学、植物、環境、教育、人類学、およびインド・タイなど海外関係図書の整理、番号付をしています。

館長：木下善晴（小菅村在住）

自然文化誌研究会（東京都）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳、小川泰彦

ミュージーズ研究会（小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

事務局：黒澤友彦（小菅村在住） npo-inch@wine.plala.or.jp

研究員塾生：木俣美樹男、西村俊、藤盛礼恵ほか

連絡先：木俣美樹男 kimatami@u-gakugei.ac.jp

ホームページ：植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

生き物の文明への黙示録 <http://www.millemplac.net/>
